

# 箱根組ニュース

第315号 2019年3月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！  
各自保険に入つて山に登りましょう！

**小さな城ヶ島は自然がいっぱい！ 島をほぼ一周し、渡船で三崎港へ、名物の鮪で打ち上げ。**

2月17日(日) 京浜急行品川駅発7時10分の特急三崎口行に乗車。

各々お得な三浦半島ワンデイ切符を購入して乗車。三崎口駅に8時23分着降り立ったのは太田、星野(幸)、坂巻、松本、有倉、宗像、谷田、神山、初参加の澤、和田、星野、岩岳、菊池、戸丸の14名。

駅前2番乗り場から、8時40分発の城ヶ島行きバスに乗り込む。駅前には河津桜らしき花がかなり咲いていた。

バスは三浦半島の先端に向かって下つてゆき三崎港を経由してくねくねと海岸線に沿つて曲がつて行き、有料の城ヶ島大橋を渡る。

9時4分、城ヶ島に渡つて最初の白秋碑前バス停で下車。

橋のたもとの白秋碑の建つ浜辺に向かって橋の下をくぐつて進む。

9時8分、白秋碑に到着。高さ4mほどもある立派な石の詩碑だ。「雨は降る降る・・・」すぐ目の前の海は驚くほど水がきれいで東京湾と相模湾の間にあるのにとても澄んだ海だ。浜辺には貝殻

が沢山ある。空にはトンビが沢山飛んでいる。餌が沢山あるのだろう。

円くなって自己紹介と坂巻さん指導のストレッチをする。すぐ横にある白秋記念館に寄ろうと計画していたが10時開館ということであきらめる。

9時25分、再出発。先ほどのバス停方向に戻る。バス停横の駐車場の歩道を右方向に進む。駐車場奥には菜の花が今を盛りと咲いている。

9時33分、右のトンネルで道路の下をくぐる。突き当りを左に緩やかな上りの歩道を進む。足元には水仙が咲いている。花のピークは過ぎているようだがこのところの寒さのせいか花がたくさん残っていた。

9時40分、公園駐車場入り口通過。沢山の水仙が迎えてくれた。良い香りが漂っている。

9時47分、左側にベンチが現れ、水仙の向こうに海が見える、小休止。

9時53分、県立城ヶ島公園入口を通過。周囲4キロほどの島の東側3分の一ほどが公園になっている。広い芝生や展



望台やトイレがあり家族連れのピクニックにもおすすめだ。

9時55分、公衆トイレの先の第1展望台に到着。観光バスで来たと思われる団体とニアミスだが、彼らは登らなかったので我々は上つて景色を堪能する。南側に広がる太平洋の広さと地球の丸さを感じることが出来る。残念ながら富士山は見えなかったが360度の展望は見事だ。釣り船が何艘も見えている。

再び水仙の香りに誘われながら歩くと広い芝生のピクニック広場に到着。

10時7分、右側、第2展望台到着。また少し東側に進んだので房総方面が良く見える。鋸山らしきピークも確認できた。東側磯の先には白く小ぶりの安房崎灯台が見える。あの辺りで早めの昼食予定だ。10時15分、ピクニック広場の東の端にある階段を下りて行く。100段ほ

現在の収支	
繰越入金	36721 円
	706 円
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	36027 円

切手残数	
82円切手	191枚
40円切手	131枚

どの階段を降りると景色は大自然に一変する。

白いローソクのような形の可愛い灯台が岩場の先に立っている。降りた辺りで昼食と思っていたが北寄りの風が強いので南側、岩を右に回り込んだところに陣取ることにした。

10時30分、北に屏風のような崖があり東側に大きな岩のある風の弱い場所です昼食準備開始。松本さんと宗像さんがトン汁の料理を始めてくれるということ了他12名は灯台周辺の散策に出かける。

安全のためストックを使つて岩場を歩く。不安定な岩場を歩いてゆくと灯台までの岩場には細くコンクリートの道ができています。灯台手前にはその道に一部波しぶきが打ち寄せていて滑らないように慎重に歩く。着いてみると高さ20メートルほどはありそうだなかなか立派な灯台だ。磯を楽しむながら昼食場所に戻る。

トン汁はほぼ完成していた。火を強めて仕上げにかかる。

3月17日(日) 丹沢の不老山(928m)です。

レギュラーコース 歩行約5時間

小田急線新松田から西丹沢自然教室行バスで棚沢キャンプ場下車。下山は御殿場線駿河小山駅。

○持ち物 お弁当、飲料水、非常食、雨具、傘、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他。

●申し込みは3月15日(金)までに

集合 3月17日(日)

小田急線新宿駅 6:31発  
急行小田原行き(前から3両目)

途中駅発

代々木上原 6:36 下北沢 6:39  
経堂 6:42 成城学園前 6:47 登戸 6:51  
向ヶ丘遊園 6:55 新百合ヶ丘 7:02  
町田 7:11 海老名 7:25  
新松田 8:01 着 (バス乗り換え)  
8:25 発 西丹沢自然教室行き  
8:58 着 棚沢キャンプ場下車

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸  
戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi

レジャーシートメインテーブル？いつものようにおいしい手作り料理が並ぶ。ビールで乾杯、日本酒もあり。熱々のおいしいトン汁が出来上がりお代わりもしてお腹は一杯。

12時20分、出発。磯から少し西側の階段を上り第2展望台の前でトイレタイム。公園南側の道で公園出口に向かう。

12時40分、公園の出口を通過。左側を進んでいくとすぐに水仙の群生地。左に水仙畑の中に入る道がありここに入ってゆく。良い香りが広がっている。すぐに右の道に戻る。



12時47分、左に馬の背洞門への道が現れこれを入ってゆく。道の両側にはやはり水仙が並んで咲いている。12時49分、ウミウ展望台。半島状に突き出た岬

は岩の部分が白くなっている。アップで見ると沢山のウミウらしき鳥が休んでいる。白いのはウミウの糞かもしれない。12時54分、右、城ヶ島灯台との分岐点。左の馬の背洞門へ進む。少し進むと海が広がり眼下の磯手前に洞門の岩が見えている。

階段を下りて洞門の前に到着。景色もいいので記念撮影とここで少し長い休憩。磯の岩場は遊び場としても絶好だ。1時20分、出発。砂浜と磯の混じった海岸沿いを、ルートを選びながら岩の段差と砂に気を付けながら進む。

1時59分、建物の奥に城ヶ島灯台の姿が見える。右に公衆トイレがあり小休止。

分岐を右方向に鮪料理店の横を進んでゆく。左側に城ヶ島灯台公園と書いた小さな灯台型の標識。左に階段がありこれを登ってゆく。

2時5分、城ヶ島灯台着。そのまま西方向に下りて行く。長津呂の磯を見ながら右方向に曲がってゆく。

2時11分、城ヶ島京急ホテル前を通過してなおも海岸線に沿って右方向に回り込む。特徴的に層になっている岩をつなぐ様にジグザグに架かる観光橋を通過。

突き当りを左に行くとバス停城ヶ島

のエリアに到着。土産店や鮪料理<sup>3</sup>の店がたくさん並んでいる。そのままつすぐ進むと城ヶ島渡船白秋の船着き場に到着。5分ほどの渡船だが海を渡るのは楽しい。

2時50分頃、三崎港に到着。港の横にある産直センター「うらり」で鮪や野菜を買ってここで解散。さすがに鮪の店がたくさん並んでいた。大きな三浦大根を購入、重さが5.5キロもあった。

その後残った11名ですぐ裏の鮪料理店で打ち上げして帰京。



